



# 2024 日本留学フェア in Uzbekistan

## 実施報告書

- [ 1 ] 実施概要・・・・・・・・・・1
- [ 2 ] 全体スケジュール・・・・・・1
- [ 3 ] 各日の実施状況・・・・・・4
- [ 4 ] 会場の様子・・・・・・5
- [ 5 ] 来場者の傾向・・・・・・8
- [ 6 ] ご参加大学・機関の声・・8
- [ 7 ] 最後に・・・・・・・・・・9



2024 年 12 月

ウズベキスタン日本センター(UJC)

## [1] 実施概要

1. 日程:2024年11月5日(火)~8日(金)  
タシケント…11月5日(火) 9:30~17:00 ※6日(水)はグループごとに学校訪問  
ブハラ……11月8日(金) 9:30~17:00 ※7日(木)は移動日
2. 場所:ウズベキスタン・タシケント市、ブハラ市  
タシケント… インターナショナル・ビジネスセンター (International Business Centre)  
9階ホール「コーカンド (Kokand)」「ウルゲンチ (Urgench)」  
ブハラ…… ウィンダム・ブハラ (Wyndham Bukhara)  
「カルヴォン・イベントホール (Karvon Event Hall)」
3. 主催:ウズベキスタン日本センター (UJC)  
共催:名古屋大学ウズベキスタン事務所  
筑波大学「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業」  
後援:在ウズベキスタン日本国大使館  
ウズベキスタン共和国 高等教育・科学・イノベーション省  
独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
ウズベキスタン日本語教師会  
協力:独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)
4. 言語:原則として英語(ただし各ブースには日本語対応も可能なサポートスタッフ1名を配置)
5. 参加大学・機関:9大学、4機関  
(大学)京都情報大学院大学、京都先端科学大学、慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス、  
筑波大学、東洋大学、名古屋大学 ウズベキスタン事務所、名古屋経済大学、  
立命館アジア太平洋大学、Japan Digital University (JDU)  
(機関)在ウズベキスタン日本国大使館、独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)、  
JICA・日本での就労機会を活用した産業人材育成プロジェクト (GROW)、  
ウズベキスタン日本センター(UJC)
6. 資料参加大学:2大学  
東京大学 教養学部英語コース (PEAK)、北海道文教大学

## [2] 全体スケジュール

【11月5日(火)】

| 9:30~17:00 「2024 日本留学フェア in Tashkent」 |   |
|---------------------------------------|---|
| 9:30                                  | 開場、来場者受付開始  |
| 10:15~10:30                           | 開会式<br>・来賓ご挨拶<br>- ウズベキスタン共和国 高等教育・科学・イノベーション省<br>- 在ウズベキスタン日本国大使館<br>・主催者挨拶<br>- ウズベキスタン日本センター |

|             |   |
|-------------|---|
| 10:30～17:00 | <p>各大学・機関のプレゼンテーション、および各ブースでの個別相談</p> <p>《プレゼンテーション》</p> <p>10:30-11:00 名古屋大学<br/> 11:00-11:30 京都先端科学大学<br/> 11:30-12:00 名古屋経済大学<br/> 12:00-12:30 立命館アジア太平洋大学</p> <p style="text-align: center;">～休憩～</p> <p>13:00-13:30 Japan Digital University (JDU)<br/> 13:30-14:00 筑波大学<br/> 14:00-14:30 慶應義塾大学<br/> 14:30-15:00 東洋大学<br/> 15:00-15:30 京都情報大学院大学<br/> 15:30-16:00 JASSO<br/> 16:00-16:20 日本留学経験者による体験談<br/> 16:20-16:40 GROW<br/> 16:40-17:00 ウズベキスタン日本センター</p> |
| 17:00～18:00 | 終了、会場片付け  |
| 18:30～20:30 | 懇親会   |

【11月6日(水)】

| 8:00～17:00 学校訪問   |   |  |
|---|---|--|
| A – 理系高校  | B – 文系高校  | C – 大学   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都先端科学大学(昼食前)</li> <li>・慶應義塾大学(昼食後)</li> <li>・筑波大学</li> <li>・JDU</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都先端科学大学(昼食後)</li> <li>・慶應義塾大学(昼食前)</li> <li>・東洋大学</li> <li>・立命館アジア太平洋大学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都情報大学院大学</li> <li>・名古屋大学</li> <li>・JASSO</li> </ul> |
| <p>① <u>9:30～11:00</u></p> <p>Academic Lyceum of Turin<br/>Polytechnic University in<br/>Tashkent</p>               | <p>① <u>8:30～10:00</u></p> <p>The Academic Lyceum of<br/>Westminster International<br/>University in Tashkent</p>           |  |
|   | <p>② <u>10:30～11:30</u></p> <p>“International House – Tashkent”<br/>Academic Lyceum</p>                                     | <p>① <u>10:00～11:20</u></p> <p>Tashkent University of<br/>Information Technologies</p>       |

|   |   |  |
|---|---|--|
| ② 11:30～13:00<br>The Academic Lyceum of<br>Tashkent University of<br>Information Technologies | ☆ 12:00～12:30<br>Japan International School<br>※ 訪問のみ(プレゼンなし)                 | ② 12:00～13:00<br>New Uzbekistan University                     |
|   | 13:00～14:30 昼食  |  |
| ③ 15:00～16:30<br>Muhammad al-Khwarizmi<br>Specialized IT School                               | ③ 15:00～16:30<br>Academic lyceum under<br>Tashkent State University of<br>Law | ③ 15:00～17:00<br>Kimyo International University<br>in Tashkent |

【11月7日(木)】

|             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| タシケント→ブハラ移動 |                                 |
| 9:30～14:00  | ・UJC ブハラ分室訪問<br>・ブハラ市内観光<br>・昼食 |
| 18:30～21:00 | 懇親会                             |

【11月8日(金)】

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 9:30～17:00「2024 日本留学フェア in Bukhara」 |   |
| 9:30                                | 開場、来場者受付開始  |
| 10:15～10:30                         | 開会式<br>・来賓ご挨拶<br>- ブハラ州副知事<br>・主催者挨拶<br>- ウズベキスタン日本センター   |
| 10:30～17:00                         | 各大学・機関のプレゼンテーション、および各ブースでの個別相談<br><br>《プレゼンテーション》<br>10:30-11:00 筑波大学<br>11:00-11:30 東洋大学<br>11:30-12:00 京都先端科学大学<br>12:00-12:30 Japan Digital University (JDU)<br>12:30-13:00 慶應義塾大学 |

|             |  |
|-------------|--|
|             | 14:00-14:30 立命館アジア太平洋大学<br>14:30-15:00 名古屋大学<br>15:00-15:30 東洋大学<2回目><br>15:30-16:00 京都先端科学大学<2回目><br>16:00-16:20 GROW |
| 17:00       | 終了、会場片付け   |
| 18:00~19:30 | 夕食を兼ねて留学フェアの振り返り   |
| ブハラ→タシケント移動 |  |

### [3] 各日の実施状況

#### 【11月5日(火)】 日本留学フェア in Tashkent

昨年(2023年)よりUJCが主催を引き継いでからは、今回が2回目の日本留学フェアの開催となった。新たな試みとして、タシケントの他に地方都市のブハラでも開催することとしたが、まずはタシケントからスタート。

日本から参加の各大学や機関には、昨年同様、学校紹介や留学プログラム等に関するプレゼンテーションの時間を30分ずつ設けたほか、来場者のご相談に対して個別に応じていただくためのブースを設置した。各大学および機関のブースには通訳の役割を含むサポートスタッフを配置し、資料のみ参加の各大学の資料についても、特設スペースを設け、配布のためのサポートスタッフを配置した。

開催当日のタシケントはあいにくの雨模様だったため、集客の面での影響が危惧されたが、いざ開場時間を迎えると、会場は入場を待ちわびていた方々ですぐに溢れ返り、こうした心配は杞憂に終わった。その後も来場者が後を絶たず、終わってみれば、悪天候にもかかわらず、来場者数は721名に達した。

#### 【11月6日(水)】 学校訪問

昨年同様、日本からの各参加校や機関の要望も踏まえつつ、理系高校、文系高校、大学という3つのグループに分けてタシケント市内の学校訪問を実施。昼食を挟んでグループを移動した参加校もあった。

それぞれの学校への訪問時間は1時間~1時間半程度で、訪問時の対応は、プレゼンテーションのみの実施であったり、施設見学の時間があったりするなど、各学校によって異なっていたが、訪問校側の学生や生徒の参加者数は概ね50名~100名程度であった。中には日本への留学に対して元々大きな関心を持つ学生や生徒もいたが、集まった参加者は、留学自体に興味はあっても、必ずしも日本への留学を考えているわけではなかったため、今回の訪問をきっかけに、日本への留学に興味を持ち始める参加者も多かったのではないかと推測される。

#### 【11月7日(木)】 ブハラへの移動日

ブハラでの日本留学フェア開催に先立ち、移動日を利用して、午前中には希望者向けにブハラ観光をプログラムに取り入れた。また、午後は自由行動の時間としたが、希望者にはブハラ分室で日本語を学ぶ学生をガイド役として紹介し、午前につき、街歩きなどを通してブハラの魅力を感じていただいた。

#### 【11月8日(金)】 日本留学フェア in Bukhara

ブハラでは初めての日本留学フェア開催となった。タシケントと同様、30分間のプレゼンテーションの実施と、来場者の個別相談のためのブースを設置したが、タシケントのみの参加でブハラには不参加だった大学

や機関があり、タシケントより参加校が少なかったため、空いた枠を利用してプレゼンテーションを2回実施した大学もあった。なお、タシケントのみ参加の大学・機関は、ブハラでは資料参加として、資料配布用のブースを設置した。

ブハラでは初めての実施ということもあり、どのぐらいの来場者が集まるのか事前にはなかなか読みにくかったが、開場が近づくにつれて来場希望者が徐々に集まり始め、開場時には長蛇の列ができていた。来場希望者には事前に登録をお願いしていたが、ブハラでは事前登録者が200名程度で、タシケントほどの来場者数にはならないものと予想されたが、最終的な来場者数は522名に達した(加えて、入場時の登録が漏れていた来場者が数十名程度いたものと思われる)。この事実から、ウズベキスタンではタシケントに限らず地方においても、日本留学への関心が高いことが窺われる。

ただ、時間帯によって来場者数にばらつきがあり、プレゼンテーションの開始予定時刻を遅らせるなどの対応をとった大学もあった。ブースでも参加校が時間を持て余すようなことがあったため、今回の経験を踏まえて、次回への対応を検討したい。

## [4] 会場の様子

11月5日のタシケント、8日のブハラの日本留学フェアには、合計で1200名以上の来場者があり、会場は活況を呈した。6日のタシケント市内の学校訪問の写真も含め、開催時の様子や会場図は以下の通り。

### 【写真】

11月5日

[タシケント]  
留学フェア



11月6日

[タシケント]  
学校訪問



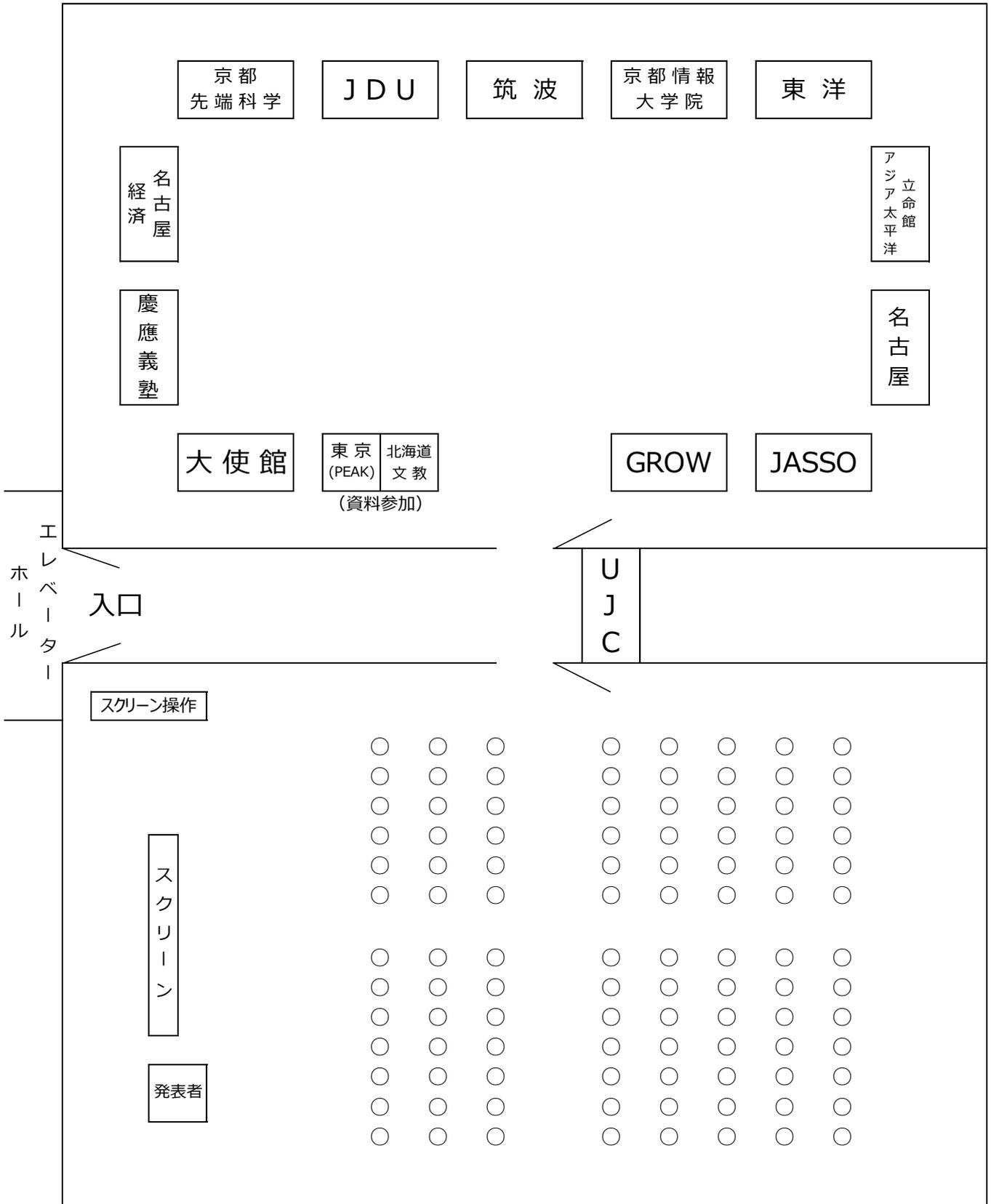
11月8日

[ブハラ]  
留学フェア



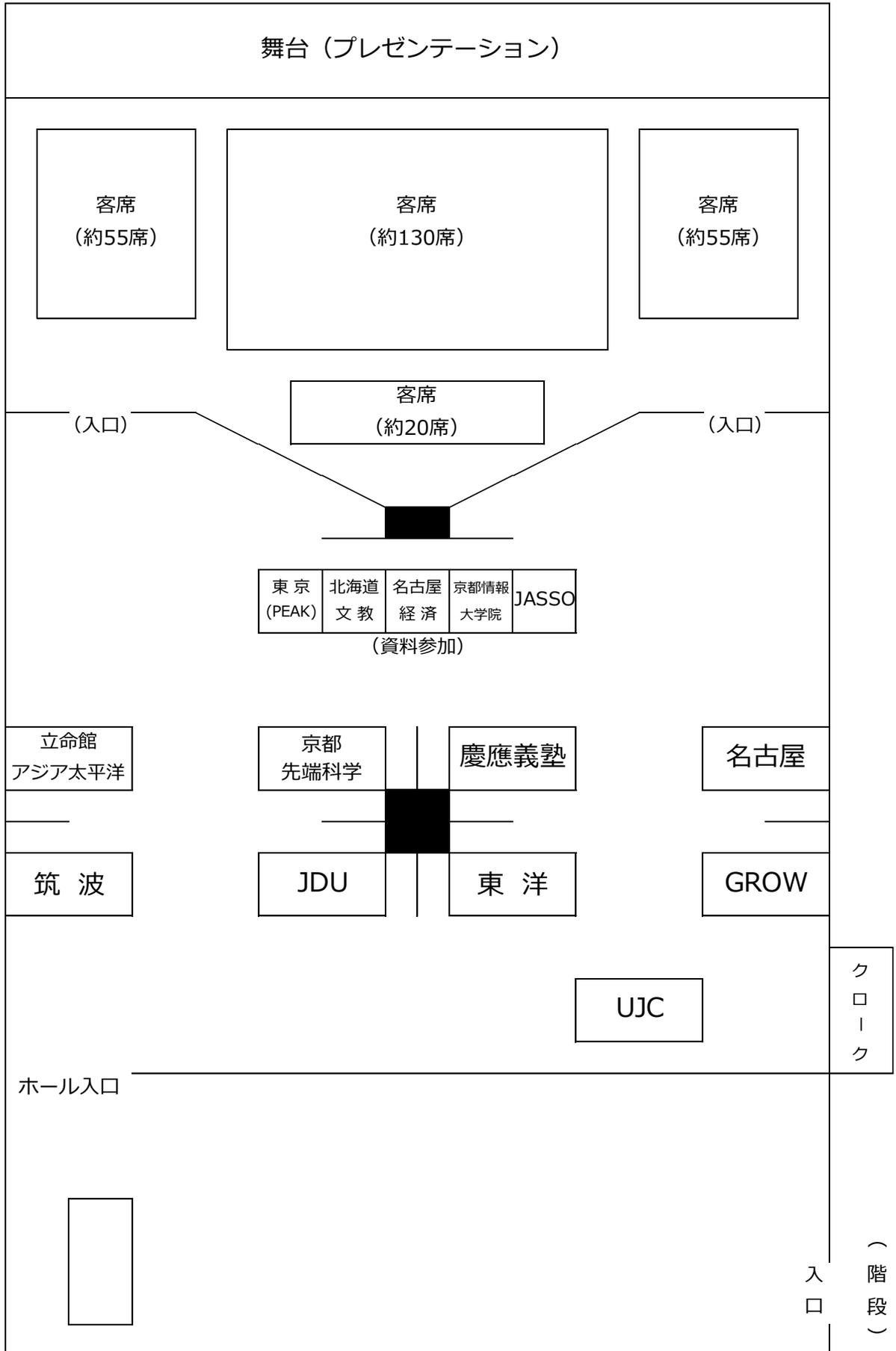
【会場図】

＜タシケント会場＞「コーカンド」ホール（ブース設置）



「ウルゲンチ」ホール（プレゼンテーション）

<ブハラ会場> カルヴォン・イベントホール



## [5] 来場者の傾向

今回の留学フェアにおいては、共催の筑波大学から来場者にアンケートを実施した。このアンケートによって、昨年以上に来場者の傾向を詳しくつかむことができた。この場を借りて、アンケートを実施し、結果をまとめていただいた筑波大学にお礼申し上げたい。

質問項目、およびタシケント会場、ブハラ会場のそれぞれの回答の結果については、別添資料をご参照いただきたい。

## [6] ご参加大学・機関の声

日本留学フェア終了後にご参加大学・機関向けに実施したアンケートに対しては、計 10 大学・機関からご回答をいただいた。アンケートにご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げたい。

アンケートの全体的な結果としては、概ねご満足いただけたような回答を多くいただき、運営側としては安堵している。しかし、そのような中でも、いただいたご回答からは、次回の開催に向けての課題や、検討していくべき点も見えてきている。そうした声を紹介すると共に、ブハラでのフェア終了後に実施した振り返りの際に出た意見も踏まえながら、アンケート結果の概要をお伝えしたい。

### ○ 開催時期、期間、開催地

開催時期としては今回の時期(11月上旬)がちょうど良いという回答が 10 件中 9 件にのぼった。期間に関しては、移動日を含めた 4 日間はちょうどよかったという回答が大勢を占めたものの、移動日はない方が良いという意見も見られた。特に、今回はブハラでの初開催ということもあり、まずはブハラという町を知っていただくという意味合いも含めて移動日を利用した観光の時間を設けたが、2 回目以降は必要ないかもしれないという意見や、ブハラでも学校訪問があると良いという声もあった。また、開催地については、次回以降もタシケントとブハラでの開催を望む声が多かったことに加えて、サマルカンドでの開催を希望するという回答も半数を超える 6 件を数えた。

### ○ タシケントの留学フェア

プレゼンテーションの時間は、30 分でちょうど良いという意見が多かったが、長かったという意見も見られた。プレゼンテーションの時間は参加校数に依る部分もあるので、次回以降も、参加校数を踏まえながら検討していきたい。

ブースの広さやサポートスタッフについては、ほとんどがご満足いただけている旨のご回答をいただいたが、一部、ブースがやや狭かったという声も聞かれた。会場全体についても、ほぼご満足いただけていたようではあったが、運営側としても当日の換気、暑さの問題は感じていたところで、やはりその点を指摘する回答が何件も見られた。

### ○ タシケントの学校訪問

訪問校数、訪問先の選択については、ご満足いただけたという回答が大半を占めた。ただ、訪問先の学校によって受入体制が異なっていたため、戸惑いを感じた旨の回答がいくつかあった。また、訪問校に関する情報を早めに提供してほしい旨の意見も複数見られた。この点は昨年も指摘されていたもので、改善を図ったものの、結果として今回も情報提供が直前となってしまったので、改めて次回に向けた課題と捉えたい。

### ○ ブハラのフェア

初開催ではあったが、会場の選定も含め、全体的には概ねご満足いただけたような回答が多かった。しかし、時間帯によって来場者数に差があったと感じた旨の回答も多くあり、ブースで時間を持て余してしまうことがあったという意見も複数見られた。特にプレゼンテーションに関しては、来場者が少ない時間にあたってしまった大学もあり、公平ではないと感じた旨の回答もあった。

また、終了後の振り返りでも開催時間に関する意見が出たが、9:30～17:00という時間設定では長いのではないかという声も聞かれた。時間を短くすることで、来場者が少なくなる時間も短くすることができる可能性はあると思われるので、こうした時間の調整の必要性なども含め、今回初開催だったブハラではいくつかの課題も見えてきた。その一方で、来場者が多かったこととその英語力が高かったことに驚いた声や、サポートスタッフの対応を称賛いただくような声も聞かれ、まずは開催したこと自体が成功だったと言える部分もあったのではないかと考えている。

## [7] 最後に

今回は、ブハラで初めて留学フェアを開催するということが大きな試みであったが、運営側としても予想していなかったほど、タシケントと比べてもそれほど遜色のないほど多くの方にご来場いただき、地方都市においても日本留学に対するニーズがあることを実感できた。地方都市での可能性を感じた今回を足掛かりに、日本側からも開催のニーズのあるサマルカンドを含め、将来的な他の地方都市への展開についても、今後は検討していきたい。

全体としては、タシケント、ブハラのそれぞれのプログラムにおいて、ご参加校の皆様に概ねご満足いただけたことはありがたいことではあったが、やはり成功と言える部分だけではなく、課題となる部分も見えてきた。サマルカンドでの開催など、新たな地方展開についても検討は進めたいが、併せて、足元に残った課題についても、完全に解決することは難しい部分があったとしても、少なくとも改善は図っていきたいと考えている。

なお、昨年はプログラム自体がタシケントの留学フェアと学校訪問の2日間のみと短かったが、今回は、特にブハラまでご参加いただいた大学・機関の方々にとっては移動日も含めて4日間というスケジュールになったため、フェア以外の時間でも、他の参加者と懇親会、観光、昼食などを通じて長い時間をともにすることで、大学同士の横のつながりが強くなったという意見が多く聞かれたことが印象的であった。そうしたことは、当初はあまり想定していたことではなかったが、結果としてウズベキスタンからの留学生募集を進めている各大学同士の関係が深まったことは、運営側としても嬉しい副産物となった。ブハラのフェア終了後の振り返りでも提案があったが、今後、自校だけではなく、たとえば自校にはない学部への留学希望の問い合わせなどに対しては、そうした学部のある大学を紹介するなど、全体で1つの「チーム」となってウズベキスタンからの留学生の受入を積極的に進めていただければ、望外の喜びである。

最後に、今回の留学フェアに日本からお越しいただいた各ご参加大学と機関の皆様、資料参加していただいた大学の皆様に、改めて深く感謝申し上げたい。加えて、後援、協力など様々な形で運営に携わっていただいた各機関の皆様、そして共催として多大なご支援をいただいた筑波大学、準備にご協力いただいた名古屋大学の両校に改めて謝意をお伝えしたい。両校のご支援やご協力なしに今回のようなフェアを開催することはできなかったのではないかと考えている。今回ご参加いただいた大学・機関の皆様にはまたご参加いただけるよう、次回もウズベキスタン日本センター全体で準備に尽力していく所存である。

以上